



〆一 幕後仲間へ安野テマハ成ニ冬大ノ始見マキニ既効其非マ
 並重會加ニ効テハ職風器ノ非車品豐富キハニ又ノ市野ハ和半ニ出
 衣千機百タミ嫌首ノ職嫌マタマ情品マ立マタ。
 會長ノ副務ノ結果事業整理マタイニテ出テ今職工想マ並ニ異
 業立憲團ニ成マ本團ニ又機ノ調定出職聯合マ職場スルキハ
 出此重慶費得取ノ職工ニシテハ本職向土會長マ得取ニ、會加ノ系
 職場費得取 森田路一田強

大函支取是 職 場

大正十四年六月十八日

財團法人協調會大阪支所

維持スル事が出来ナイカラ愈々事業整理ヲ斷行スル事ニ決シ、職
 員約二十名ハ漸次一二名宛解雇スルコトニシ既ニ着手シタルガ、
 職工約百十名ハ次ノ如キ標準ニ依ツテ整理ノ豫定ナルガ目下煽風
 器ノ需要期ニハイツタガ爲ニ六七ノ兩月ハ此ノ儘使用シ適當ナ時
 期迄解雇ヲ延期シタ、該誠首ニ際シテハ紛擾ヲ惹起スルカモ知レ
 ナイ。

誠首ノ標準

- 一 病氣ノ爲メ長期ニ亘リ缺勤中ノモノ約三十名
- 二 年齢五十五歳以上ノモノ約四十名
- 三 解雇希望者
- 四 會社ノ產業立憲制ニ反對シ鬭争ヲ標榜スルモノ約四十五六名
 (放出工場約四十名、今福工場五六名)